

19 世紀学学会・19 世紀学研究所共催

博覧会と近代日本

日時 2011 年 11 月 12 日 (土) 13 時 30 分～

学会総会 17 時 30 分～

会場 新潟大学 総合教育研究棟 大会議室



◆ 伊藤真実子 (学習院大学東洋文化研究所客員研究員)

「19 世紀の知の潮流 ―百科事典・博物学・博覧会―

◆ 佐野真由子 (国際日本文化研究センター准教授)

「『万国博覧会の日本』を誰から見るか ―1862 年

第 2 回ロンドン万博を事例として」

◆ 濱田陽 (帝京大学准教授)

「博覧と宗教の世紀間跳躍」



2005 年の愛知万博、2010 年の上海万博の成功で、万博というイベントが、再び世間の注目を集めました。この万国博覧会の第 1 回がロンドンで開かれたのが 1851 年で、国内博覧会はパリでおこなわれた 1798 年までさかのぼれるといわれています。文物を分類して展示する博覧会は、まさに 19 世紀の知の産物と考えられます。

では、この博覧会と日本はどのような関わりをもったのでしょうか。今回は、このテーマについて、歴史、文化、宗教の各専門家に、江戸の薬品会から 1893 年のシカゴ万博まで、はばひろく論じていただきます。ご関心ある方は、ぜひご参加ください。

連絡先：19 世紀学学会事務局

TEL&FAX：025-262-7601

E-Mail：study_19@cc.niigata-u.ac.jp